

■ 草津市都市計画マスタープラン 【第4回策定委員会での検討の流れ】

【次期 草津市都市計画マスタープラン(目次案)】

第1章 計画の前提

- 1-1 計画策定の背景と目的
- 1-2 計画の位置付け
- 1-3 策定にあたっての視点
- 1-4 計画の目標年次
- 1-5 計画の構成

第2章 本市の現状と課題

- 2-1 本市の現状
位置・地勢、人口動向、土地利用、交通体系、都市基盤・都市施設、産業、自然災害、文化・歴史、都市経営
- 2-2 策定にあたり考慮すべき社会潮流
- 2-3 市民意向
市民アンケート調査、地域別市民会議
- 2-4 都市づくりで重視すべき課題

第3章 全体構想

- 3-1 都市づくりの理念
- 3-2 都市づくりの目標
- 3-3 将来の都市構造
都市形成フレーム、将来都市構造図
- 3-4 分野別方針
 - 1. 土地利用の方針
 - 2. 道路・交通の方針
 - 3. 公園・緑地の方針
 - 4. 安全・安心の方針
 - 5. 景観の方針
 - 6. 住宅・住環境の方針

第4章 地域別構想

- 4-1 地域別構想について
- 4-2 地域別構想
 - 1. 北部中心核地域
 - 2. 南部中心核地域
 - 3. 東部丘陵地域
 - 4. 南部湖岸地域

第5章 計画の実現に向けて

- 5-1 実現に向けた方針
- 5-2 進行管理と見直し

主な内容は前回からの提示

【都市づくりの理念】資料5：計画書 p.26、資料6

論点1

市民とともに育み 次世代へつなぐ
利便性と豊かさのある健幸な都市 草津

- ◇将来にわたる人口減少局面を見据え、市民や本市を訪れる人々の利便性が確保され、安全・安心で、居心地がよく、豊かさのある「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の都市構造を構築しています。
- ◇健康的で生きがいのある都市生活の中で、誰もが自分らしい多様なライフスタイルを送ることを通じて、健やかさと幸せを感じられる都市となります。
- ◇次世代を担う子ども達や市外から新たに迎え入れる市民が、長い歴史の中で培ってきた“草津”に愛着と誇りを持てるよう、これまでに地域を支えてきた市民とともに育み、次世代へつなぎます。

【将来都市構造図】資料5：計画書 p.30~38、資料7

【将来都市構造図】

(構成する要素)



核

北部中心核、南部中心核、複合連携核、交流創出核、地域再生核

軸

広域連携軸(鉄道・道路)、都市環状軸、地域連携軸、水とみどりの軸

ゾーン

商業ゾーン、住宅ゾーン、住工調和ゾーン、工業ゾーン、環境共生ゾーン、複合連携ゾーン

論点2

エリア

発展市街地エリア、高度利用エリア、湖辺賑わい創出エリア、産業振興エリア

【分野別方針】資料5：計画書 p.39~56、資料8

論点3

(6つの分野別方針)

- 1. 土地利用の方針
- 4. 安全・安心の方針
- 2. 道路・交通の方針
- 5. 景観の方針
- 3. 公園・緑地の方針
- 6. 住宅・住環境の方針

各方針について

- ◇方向性
- ◇方針
- ◇方針図を整理

第2回地域別市民会議での検討

・11/14~28 で開催する第2回地域別市民会議で、地域住民の皆さまと内容を議論

第5回策定委員会で地域別構想(素案)等を提示のうえご議論

第4回策定委員会(本日)

第5回